

ライトニングトーク： 電子署名検証を10分で説明してみる

JNSA 電子署名WG秋祭り
オクトーバーフェスト

宮地(miyachi@langedge.jp)

2016年10月26日

お約束 : miyachi とは ?

属性 : **プログラマ** (ソフトを作っている時が幸せ)

好物 : **電子署名/PKI/PDF/OOXML**

所属 : 有限会社ラング・エッジ (一人開発会社w)



肩書 : 電子署名WG スキルアップTF リーダー
JIPDEC 客員研究員

野望 : オープンな**開発者コミュニティを署名業界に!**

開発 : オープン系 = **FreeTSA/FreeXAdES**等
製品系 = LE:XAdES:Lib/LE:PAdES:Lib

電子署名の検証って？

例えば署名済みPDFを開いた時に



表示されるこれ検証だよね？



署名済みであり、すべての署名が有効です。

だって検証結果が正常なんだから
信頼して良いのでしょうか？

じゃあ検証では何をチェックしているの？

(°Д°) ホカーン

※ 一般の人の反応「そんなの知らんがな…」

え？え？だって開発会社の人
ちゃんとプログラミングしているから
検証OKなら**問題無い**のではありませんか？

ちゃんとした検証とは？

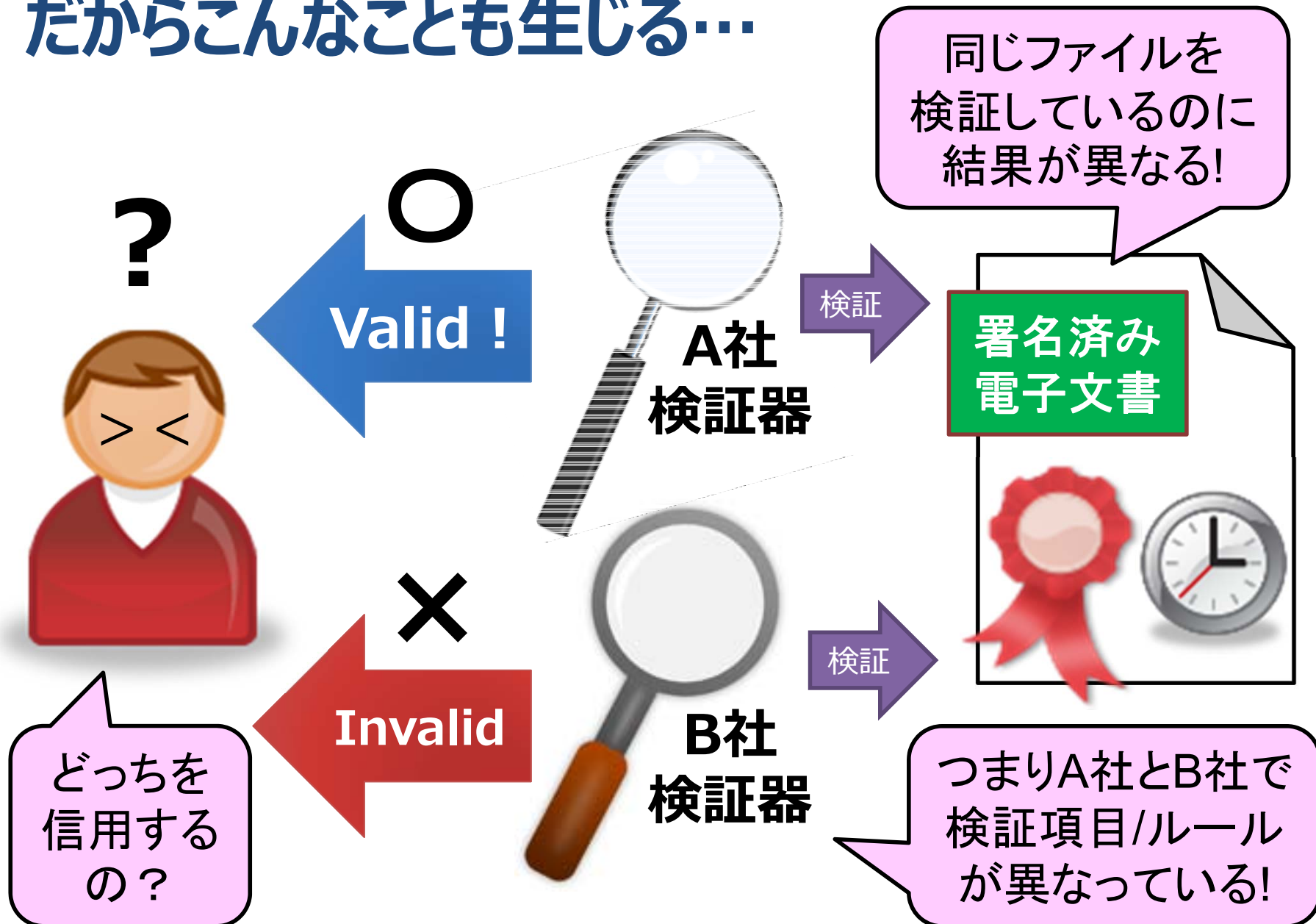
ちゃんとしているってのは、例えば標準化された仕様に従っている？

残念！

署名の生成は色々標準化されているけど、実は検証についてはまだほとんど標準化仕様は無いのです。

※ ETSIでは新たに作っているけど分かりにくいので…

だからこんなことも生じる…



今日は簡単に検証項目を勉強しましょう！

特に技術系なら

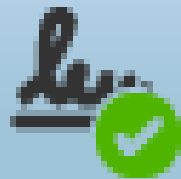
知っておいて損は無い！

(・▽・)b イイ！！

勉強しよう！

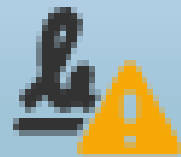
検証結果ってValid/Invalidと…

Valid: 正常



署名済みであり、すべての署名が有効です。

Indeterminate: 不明



少なくとも 1 つの署名に問題があります

不明って…何？
何で端末毎に
結果が違うの？



無効な署名があります。

Invalid: 異常/失敗

検証は大きく分けると2つの項目がある

1) ロジックで検証可能な項目

- ・公開鍵暗号の署名値（改ざんの検知）
- ・署名フォーマットの正しさ（標準/プロファイル）

※ ロジックなので誰がやっても同じ結果

2) PKIにより検証可能な項目

- ・署名証明書の認証パスと失効（署名者確認）
- ・ルート証明書の信頼性（何をトラストする？）

※ 問い合わせ等が必要で環境依存あり

外部から与える/取得する必要のあるものは？

現在時刻（通常はPC時刻）
中間証明書（証明書ストア等）
トラストアンカー（証明書ストア等）
失効情報（無ければネットから取得）
有効暗号リスト（今は無い…）
署名要素制約（プロファイル等）

環境依存
する場合あり

※ 検証結果が異なるのはこの辺りが原因!

署名検証アプリケーションの例

現在時刻・中間証明書・トラストアンカー・失効情報・
有効暗号リスト・署名要素制約 等
外部から与えるパラメーター要素

これらが不足しているとPKI項目の検証が
できず **Indeterminate (不明)** になる



署名済み
電子文書

署名検証 アプリケーション

検証結果：
○ Valid
△ Indeterminate
× Invalid

検証項目がベンダー間で
一致していないと結果が
異なってしまう

署名値	✓
書式	✓
認証パス	✓
失効確認	✓
信頼性	

検証項目

検証
レポート

レポート欲しいよね？

今、我々に必要なもの

1) 標準化された検証項目リスト

- ・パブリックに公開され利用可能なチェックリスト
- ・1つではなく国毎や分野毎にポリシーとして必要

※ 無ければ作るしかない!

2) チェックリストの適合宣言書

- ・どの検証項目に対応しているか各ベンダーが公開
- ・検証結果に標準化された検証レポートの出力

※ これによりベンダー間の差異が明確に!

実はやってみました、またやります！

➤ **2013年頃に一度公開した**

「署名検証ガイドライン」JNSAとTBFで協力し作成

<http://www.dekyo.or.jp/tbf/seika/pdf/densiguide.pdf>

・英訳化してETSIに持って行ったが採用されなかった…

➤ **やっぱり必要だと思っんです…**

「標準原案作成TF」で検討して行きます！

まずはガイドラインで、その先できれば標準化を目指したいと考えています。**リポート！**

※ ご興味があれば是非ご参加ください！

他にもこんなものがあると嬉しい！（特に実装者）

➤ 相互運用性テスト

各ベンダーが参加して行われるテストで**相互に検証**。
ETSIでは開催しており日本も過去に開催していた。
またできないか**検討中**です。

➤ 試験用の公開テストデータ

ただこれは難しい…

PKIでは時間の概念が重要ですし、期限があるので**常に更新**して行く必要がある。

相互運用性試験時に更新できると良い？

まとめ その1:

署名検証には**ロジックとパラメータ**が必要。
署名検証標準化には**検証項目リスト**が必要。

まとめ その2:

検証項目リストが無いなら作るしかない!
無いものを作ることこそオープン系の醍醐味だ!
それに勉強になること間違いなし!

興味があればご連絡ください m(_ _)m

Thank you !